

まいにちかいえん
 ~毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園~
 ずー

2013年9月号
 No. 17



200っといっしょ

今月のニュース!

○ ベビーラッシュ!!

昨年に続き、フラミンゴの雛ひながふ化しました。現在、チリーフラミンゴが3羽、ヨーロッパフラミンゴが1羽ふ化しています。一番早くふ化した雛は、巣から出て歩き回るようになっています。今年は繁殖はんしよくがうまくいき、10ペア以上が産卵しています。9月にはたくさんの雛を観ることができると思います。

また、南門の外にある鶏舎けいしやで暮らしている、ホオジロカンムリヅルの雛がふ化しました。最近では、自分で餌を食べることもできるようになり、すくすくと成長しています。あっという間に大きくなってしまいますので、ぜひ早めに観に来て下さい。

親が警戒けいかいしているのです、静かに見守ってあげて下さい。ご協力よろしくお願いします。



○ サル山にミスト装置をつけました。

暑い夏をなるべく涼しく過ごしてもらえようミストがプレゼントされました。

このミスト装置は、群馬大学理工学研究院ぐんまだいがくりこうがくけんきゅういんと北関東産官学研究会きたかんとうさんかんがくけんきゅうかいのご協力により取り付けられました。水を水道圧によりミスト化するもので、電気を使用しない経済的な装置です。

まだまだ暑い日が続きますが、ミストを浴びて気持ちよさそうにしているニホンザル達をぜひ観に来て下さい。



9月のイベントのお知らせ

桐生が岡動物園開園60周年記念講演会

(第1部 石和田先生・第2部 江戸家小猫さん)

日時：9月14日(土) 午後1時から午後3時30分

場所：桐生市市民文化会館 スカイホール

講師：石和田 研二先生いしわだ けんじ

現在ズーラシアで飼育員をしている石和田さんは、日本でのオカピ飼育の第一人者です。

ズーラシアだけでなく、野毛山動物園・金沢動物園など横浜市の動物園で20年以上飼育員・学芸員として働いていらっしゃいます。この経験や世界の動物園を見て回ってこられた経験をもとにいろいろな話を聞かせていただきます。

江戸家小猫さんえどやこねこ

どうぶつの鳴きまねで有名な小猫さん。6月のイベントにも参加していただき、とても好評でした。今回は音にこだわった動物の話もさせていただきます。

◎参加費は無料で、事前申し込みなどは必要ありません。ぜひお気軽にお出かけください。

今回も3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

ゾウの鼻ってすごい!!

ゾウといえば、やっぱり長い鼻ですよね!!

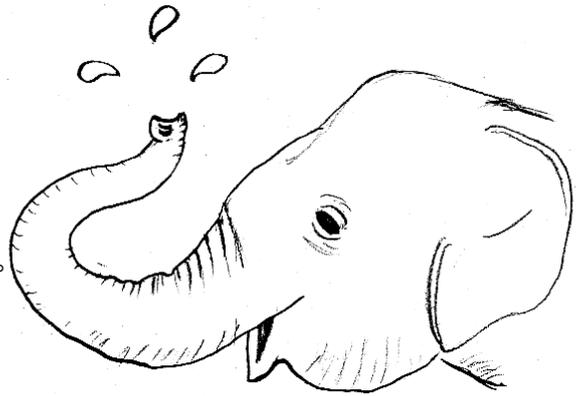
ゾウの鼻は、^{うわくちびる}上唇と鼻がいっしょに伸びたものです。

鼻には骨や軟骨はなく、筋肉でできているため自由自在に動かすことができます。

鼻の中に一度に5ℓ~8ℓもの水を吸い上げることができます。

鼻の中にためた水を体にかけたり、飲んだりします。

夏場になると、イズミちゃんはよく水浴びをします。



また、ゾウは^{きゅうかく}嗅覚もすぐれており、数キロ先の^{きつち}水場を察知することもできます。

たぬきの「ためふん」

タヌキは、何頭かで使う共同のおトイレを持っています。

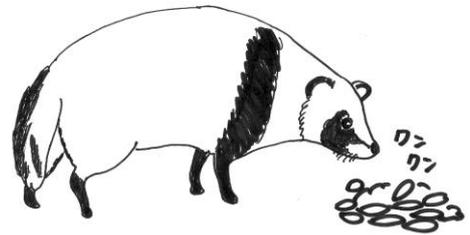
これを「ためふん」と呼びます。「ためふん」は^{じょうほうこうかん}情報交換の場でもあると考えられています。

「このあたりにはこんな食べ物があるよ」とか「自己紹介」などの場になっているのです。

「動物園のタヌキの展示場でも「ためふん」を見ることができ、

3頭のタヌキたちはみんな共同のトイレを使用しています。

タヌキのおもしろい習性にぜひ注目してみてください。



「カクレクマノミ」の^{ひみつ}秘密

映画で^{いちやく}一躍有名になった海水魚のカクレクマノミですが、実はおどろきの生態を持っています。産まれてくるときは、すべてオスとして生まれ、

群れの中で1番大きく成長した強いものがメスに^{せいてんかん}性転換します。

そして、2番目に大きい体の個体とそのメスとペアになり卵を産みます。

その後、メスが死んでしまうと、ペアだったオスの体が1番大きくなるので、

メスに性転換するのです。なんとも不思議なお魚ですね。

水族館で展示していますので、ぜひチェックしてみてください。

